

出納室

役場にはさまざまな部署がありますが、それぞれどのような業務を行っているのか分からない方も多いと思います。

このコーナーでは、町民の皆さんに役場の業務をもっと身近に感じていただくため、各係の業務内容の一部を紹介します。

出納室の窓口では、町税、県税（納期限内のみ）、町へ支払う使用料や手数料等の収納を行っています。

出納室は、町民の皆さんから取められた町税、保険料、使用料、手数料や国・県からのさまざまな公金を収納しています。また、支出にあたって、金額や内容に誤りがないかどうか審査を行い、物品購入代金、工事代金、補助金などの公金を債権者に支払っております。出納室で管理している公金については銀行等に適正に保管するとともに、安全性を最優先に効率的な管理運用に努めています。その他、日々の収入金、支出金の整理、決算の調整、各種基金の記録管理などしております。



税金及び公金等の種類や金額、町発行の納付書によつては取り扱いは行っていない金融機関がございますので、納付書に記載されている取り扱い店舗をご確認下さい。

千葉県収入証紙の販売に関する業務

千葉県の各種許可や登録等の申請書類に貼ることで、現金の代わりに手数料や使用料を納付するための証紙を販売しております。役場出納室で販売された額の3%が県からの委託費として交付され、芝山町の歳入になりますのでご協力をお願いします。

さまざまな支払いを管理しています。



行政上の施策を実際に行う事業課とは異なるため、町民の皆さんと関わることは少ないですが町の会計を担う重要な仕事です。伝票の処理を行い、無事支払いを終えたときにやりがいを感じます。

やりがいを感じる理由

町民の皆さんの税金を取り扱っているため、お金の受け渡しや支払いに誤りがないよう、緊張感と責任感をもって業務に当たっています。

係の雰囲気は？

少人数ですが、明るく、和やかな雰囲気です。報告・連絡・相談がしやすい環境です。仕事をやる上で意識していることは？



もっと知りたい
出納室の窓口

第38回 芝山はにわ祭



2023
11/12日

時空を越えて今蘇る

令和3年は、WEB開催、令和4年は儀式のみの開催となった“芝山はにわ祭”が、今年、約5年ぶりに通常開催することとなりました。

問 産業振興課 産業振興係 ☎77-3919

■芝山はにわ祭とは

芝山はにわ祭は、毎年11月の第二日曜日に、町をあげて開催されるお祭りです。

きらびやかな衣装を身にまとった国造(くにのみやつこ)を筆頭に、かつての古代人が芝山町に降臨します。時空を越えてよみがえる古代の祭礼や、巫女の舞、国造に仕える鎧をまとった武人らの隊列もあり、新しい出会いと感動を覚えることでしょう。

はにわ祭は2023年で38回目を迎えます。芝山町に伝わる伝統儀式をぜひ見に来てください！

■期日 11月12日(日)

■時間 午前9時
～午後4時30分(予定)

■場所 殿塚・姫塚古墳、
芝山仁王尊、芝山公園

※詳細な情報は、順次、町ホームページ等でお知らせする予定です。イベントや出店等も行予定ですので、是非、足をお運びください。

拡声器を整備しました コミュニティ助成事業

問 総務課 自治振興係
☎77-3903

町では、コミュニティ助成事業(宝くじ助成金)を活用して、町内の安全確保と災害活動の充実を図るために拡声器を購入しました。

■コミュニティ助成事業とは？
宝くじの社会貢献広報事業として、安全なまちづくりなどに対し助成を行い、地域コミュニティ活動の充実・強化を図るものです。

■購入物品 拡声器40台

■目的 災害時の早期避難を呼びかけることに活用するために、町消防団に配備しました。また、拡声器の重要性を再確認することで、消防団員個人の活動意欲を高めることが期待されます。



購入物品は「クーちゃん」シールが目印です。